

『マイナビアスリートキャリア』と『マイナビ仙台レディース』 人材育成におけるパートナー契約を締結 選手への育成支援を通じて、競技力・人間力の向上をサポート

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：中川信行）が展開する、アスリート向けキャリア支援サービス『マイナビアスリートキャリア』は、株式会社マイナビフットボールクラブ（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：栗井俊介）が運営する『マイナビ仙台レディース』（女子プロサッカーリーグ WE リーグ所属）と人材育成におけるパートナー契約を締結しました。

 **マイナビ** アスリートキャリア



『マイナビアスリートキャリア』は、アスリートのキャリア育成を目的とした『アスリートキャリアスクール』を開催し、スポーツとビジネスに活かせる競技力、およびビジネススキルの向上をサポートしています。また、デュアルキャリア、セカンドキャリアの職業紹介サービスもおこなっており、就労支援としてアスリートと企業のマッチングを行っています。

【提携内容】

- ① アスリートキャリアスクールで、競技力を高めるための基礎となる「人間力^{※1}」の向上を目的とした人材育成プログラムを提供・実施
- ② 主に育成年代を対象とした、現役女子プロサッカー選手を交えた人材育成の取り組み
- ③ 所属選手に対する引退時の就労希望者のキャリア支援

※1：社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力。内閣府「人間力戦略研究会報告書（平成15年4月）」より

・株式会社マイナビフットボールクラブ 代表取締役社長 栗井俊介 コメント

当クラブは『『日本でいちばん、“ひと”が育つクラブ』へ』という基本コンセプトを掲げ、日本初の女子プロサッカーリーグである「WEリーグ」に参入します。選手をはじめ、クラブに関わるすべての人が女子プロサッカー選手という新しいキャリアパスを拓く先駆者であると同時に、プロのアスリートとして競技に向き合いながら、総合的な人間力を向上させて社会に対する発信力を備えていくことが、新しい市場価値を創り出すために何より重要なことと考えています。

このたび、アスリート向け人材育成において数々の先行実績を持つマイナビアスリートキャリアのノウハウをフル活用することで人材育成を加速させ、選手・チームの社会的価値向上に努めてまいります。

・株式会社マイナビ アスリートキャリア事業室 室長 木村雅人 コメント

プロとしての活躍を目指すステージで納得のいく競技結果をもたらすためにも、その基礎となる人間力の向上をサポートできることは非常に有意義だと感じています。競技者としての道も、競技以外の道でも充実した人生になるよう、サポートしていきたいと考えています。また、プロスポーツの一つの課題でもある、競技活動終了後のキャリアデザインについて、現役中から具体的な人材育成プログラムを活用できる環境作りは、今後の日本スポーツ界のスタンダードとして多くの競技へ好影響をもたらすと確信しています。スポーツの持つ従来の価値に加え、「スポーツを通じた人材育成」「人材育成のためのスポーツ」という新たな価値を、同クラブとともに社会に提供してまいります。

【『マイナビアスリートキャリア』概要】

URL : <https://athlete-career.mynavi.jp/>

概要：『マイナビアスリートキャリア』はアスリート向けキャリア支援サービスで、2018年12月にスタートしました。デュアルキャリア、セカンドキャリアの職業紹介サービスを中心におこなっており、アスリートと企業のマッチングを行っています。また、キャリア育成を目的としたアスリートキャリアスクールを開催しています。さらに、一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）とパートナー契約を締結し、運動部学生のキャリア形成をサポートし、社会において求められる「卓越性を有する人材」の育成や就職活動支援を行います。

【マイナビフットボールクラブ概要】

URL : <https://www.mynavisendai-ladies.jp/>

スポーツ事業を通じた地域活性に取り組むとともに、女性活躍社会の推進シンボルを目指した活動を行っています。

<基本コンセプト>

「日本でいちばん、ひとが育つクラブへ」

クラブにかかわる一人ひとりが、女子プロサッカー選手という新たなキャリアパスを切り拓く先駆者であるという自覚を持ち、サッカーを通じて人間性を育みながら、成長を追求し続けます。

<理念>

私たちは女子プロサッカーチームの運営を通じて、女性をはじめとした多くの人々に人生をより前向きに生きるための夢と希望を与え、健全な社会の形成に寄与します。また、東日本大震災を経験した地域で営まれてきたチームの伝統を受け継ぎ、復興のシンボルとして地域の皆さまを笑顔にする取り組みを続けていきます。